



さくらたより

令和3年度 学校だより
NO. 8
令和3年7月20日発行
山形市立桜田小学校

1学期終了 ご協力に感謝

1学期が終了します。「コロナ禍の中でも、できることを」と、日常の生活を大切に刻んできました。子どもたち、よくがんばりました。“日々高まっていく自分を感じる楽しさ”“肝心な時の声を響かせる” — 着実に前進しています。

学校は、安心・安全な生活の場です。それを土台として、新たな物事を学び（教科の学習等）、仲間と協働することの心地よさを体得していきます。「安心・安全」を最優先に、様々なトラブルを「成長の種」とすべく、子どもたちとともに取り組んで参りました。ご心配をおかけした事案もありましたが、解決に向けて日々動いていることをご理解ください。節目に当たり、保護者の皆様からのご協力に改めて感謝申し上げます。

6年生 総合的な学習の時間 “かがやきオリンピック2021” 国際交流センターから 講師を招いて [7月16日 (金)]

6年生の総合的な学習の時間は、「世界のことを知ることで、改めて日本のよさを知る」ことをねらいとして、数人ずつのグループに分かれ、調べ学習を展開しました。その中の「言語」グループは、国際交流センターから講師を招き、「韓国のスポーツ・言語」について学ぶ企画をしました。

当日は、日本在住のチョン先生から、流暢な日本語で韓国発祥のスポーツ“テコンドー”について詳しくうかがいました。また、自己紹介の言葉（韓国語）を紹介していただき、真似てみました。

他グループは右表のようなことに取り組み、調べ、体験したことをポスターセッション形式で伝え合い、国際理解を深めました。

【調べたこと】

世界

スイーツ
自然遺産
遊び
ダンス・音楽
言語
スポーツ
絶滅危惧種
鉱石
観光地



6年生 総合 韓国発祥のスポーツ紹介

たてわり班遊び

たてわり班活動も順調に進んでいます。毎日の清掃で顔を合わせ、仲が深まり、低学年が高学年に抱きついたり、手をつないだりする姿があらこちらで見られるようになりました。頼られる高学年は、自分で動き、判断し、教え、トラブルをなだめ…、そんな毎日の出来事を通し、様々な非認知能力(6/11 No.5)を身につけています。

先週は久しぶりの遊びの時間でした。暑い中でもグラウンドに飛び出し、駆け回る子どもたち。集うことができるありがたさを改めて感じました。



校内研究 「自己の学びを創り上げていく子どもの育成」

「授業研究」は、お互いの授業を参観し合い、自分の学級経営、授業づくり等に活かしていこうと、多くの学校で行われている営みです。本校でも実践が着実に進んでいます。1学期は6年1組の授業を全教師が参観し、講師（山形市教育委員会）からの助言を受け、学び合いました。（この時は、密をさけるため数名だけ教室に入り、他はリモートで他教室にて参観という形をとりました。）

他にも、少人数で授業を見合い、放課後に授業・子どもについて語り合うことを重ねてきました。



子どもの実態、またその時々の子どもの反応に対し、教師の働きかけは瞬間瞬間に変わって（変えて）いきます。他の教師がうまくやっていることをそっくりそのまま真似て、うまくいくこともあれば、逆にかえって行き詰まることもあります。このことを十分わかり合いながら、私たちはその教室の雰囲気や子どもたち同士のつながりなどを見取り、自分だったらどうするか、考察を深めていきます。

2学期以降も、私たちの研究は続きます。



夏休み

生活リズムを保ちながら自由な時間を。
「子ども時代の時間」にたっぷり浸って。

さあ、長い夏休み。「あれもしたい。これもしたい。」と、子どもたちはワクワクしていることでしょう。ゲームに操られ溺れることなく“子ども時代の自由な時間”にたっぷり浸れる日々であることを切に願います。

学校からの宿題、今年度は大きく2つです。

- 1 おさらい帳
- 2 選択課題から一つ以上
 - ・自由研究（理科等）
 - ・理科作品（標本・工作）
 - ・青少年読書感想文
 - ・YBC読書感想文
 - ・人権書道
 - ・おいしいごはんポスター
 - ・ひろすけ感想画
 - ・アイデア貯金箱

発達段階によって多少の違いはありますので、各学年のお便りをご覧ください。

山形市で長く力を入れて取り組んできている理科研究について、令和3年度は次のように決まっています。お知らせいたします。

市理科自由研究発表会 紙上での発表

校内審査を経て、A4紙数枚にまとめて理科センターへ提出。製本されて各学校と発表者へ送付。（令和元年まで行われていたような、どこか一カ所に集まったの「発表会」は行わない。） 賞状を贈る。

市理科作品展（標本・工作等）

募集するが、作品を一カ所に集めての展示会はしない。校内審査を経て理科センターへ提出。優秀な理科工作は、県発明工夫展に出品する。賞状を贈る。